

公表 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイランドHOP		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分なスペースの確保	部屋分けを意識的に行っている。 療育中の児童、療育終了した児童で過ごす部屋を分けており、落ち着いて療育に取り組むことができる。	クールダウンができるような部屋の使う方を行う。
2	児童に分かりやすく構造化された環境になっている	視覚的に児童が分かりやすいよう、スケジュールや部屋ごとのお約束を貼り出ししたりしている。	必要に応じて壁に貼っているものを剥がし、個別に児童に伝えられるようにする。 また、改めて確認ができる時間を設ける。
3	事業所が清潔に保たれている	毎日掃除ができるようシステム化を行い、チェックシートを使用して清潔に保てるようにしている。	感染症流行の時期には次亜塩素酸などを用いて消毒を徹底し、事業所内での流行を防ぐ。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員によって、療育内容やその日の様子が共有されないことがあるため、どんな活動をしているのかわかりにくい。	パート職員からの共有ができていないのではないか。	パート職員が送迎へ向かう際は、療育内容の共有が難しい場合がある旨を事前に保護者の方へお伝えする。
2	親が参加できるイベントがない。	休日(土日祝)には外出支援や様々なイベントを行っているが、親子で参加できるイベントを実施した実績がない。	今後のイベントを検討していく必要がある。
3	欠席の際に振替を必須にしないでほしい。	お休みをされた場合は振替可能な日をお送りし、ご検討いただいている。	「お振替が難しい場合は、ご連絡をいただけますと幸いです。」などの一文を添えておく必要があった。